

こころの救急箱 通信 第5号

発行：特定非営利活動法人 こころの救急箱 2013年8月

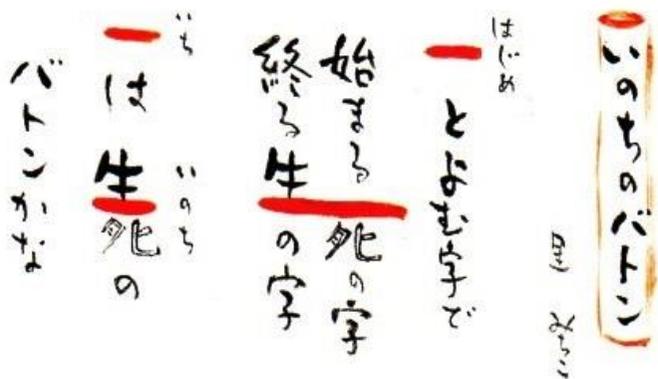
〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-16-17-708 号

事務局：電話・FAX：06-6942-9092

e-メール：cocorono9090baco@kpa.biglobe.ne.jp

URL：<http://www1a.biglobe.ne.jp/cocorono9090baco/index.html>

相談電話：06-6942-9090(月曜日夜8時～火曜日朝3時)



「生」という字の筆順を締めくくるのは「一」。そして「死」という字の書きはじめも、また「一」。棒の形の「一」の文字は、まさに生死をつなぐバトンです。

ところが、「生」を全うすることなく「死」に向かおうとする人たちがいます。その絶望している人たちに U ターンを促すのは願いに支えられた「声」です。

あるとき、私は英語の辞書に「Voice」を尋ね、語釈の一つに「希望(wish)」を見つけ、思わず目を輝かせました。人の命を司る呼吸。その呼(は)く息にのせて届ける声は、心の奥にある生への希(ねが)いなのだと気づかされたのです。そういえば「声」の字も筆順の最初は「一」です。漢和辞典の巻頭を飾る最も簡単な「一」の字は、「はじめ」とも読みます。「生」も「死」も、人を救う「声」も「何かの始まり」を暗示しているように思えてなりません。

里みちさんは大阪在住の詩人。昨年度のこころの救急箱の講演会で講師をしていただきました。里さんの詩がたり： 第11回神戸ポエム展(2013/8/15~8/20 11:00~17:00)

“いのちのバトン”詩がたりは11時・15時 是非耳のハートで聴いてみてください

JR 神戸駅南側出てすぐ HDC 神戸5F ギャラリーにて入場料無料